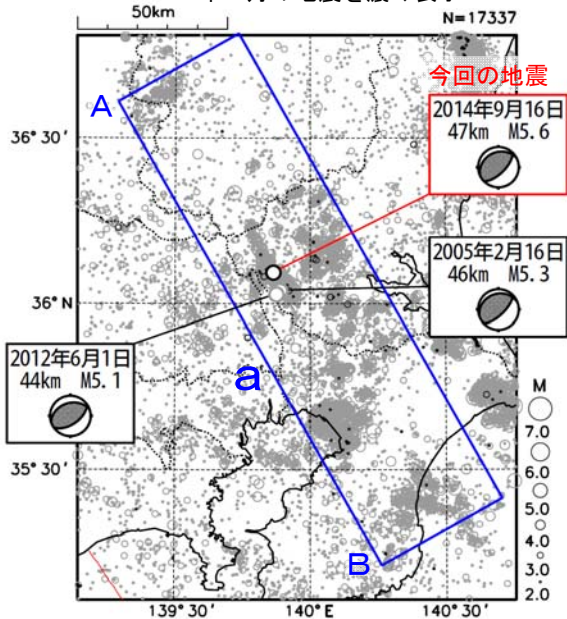


# 9月16日 茨城県南部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2014年9月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$ )  
2014年9月の地震を濃く表示

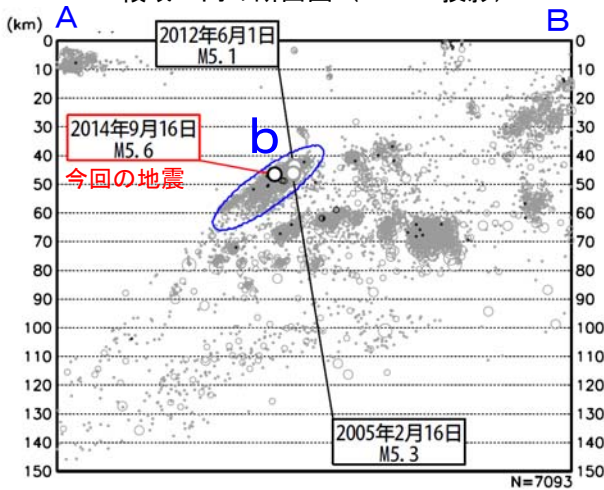


2014年9月16日12時28分に茨城県南部の深さ47kmで $M 5.6$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、負傷者9人などの被害を生じた(9月17日現在、総務省消防庁による)。今回の地震発生後、17日までに最大震度1を観測した余震が2回発生した。

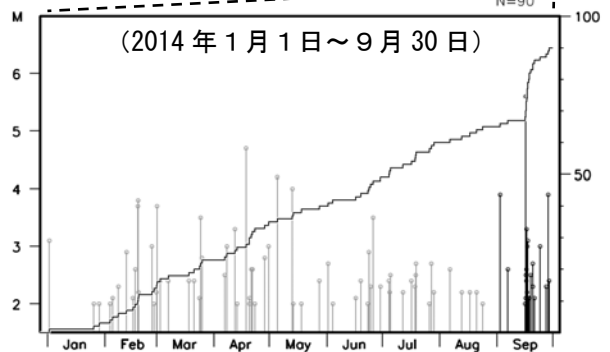
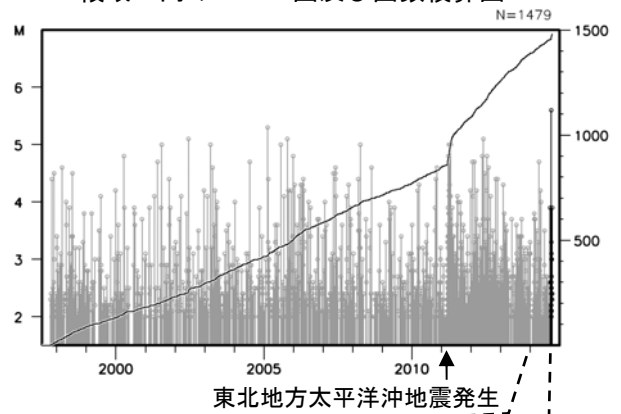
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、 $M 4.0$ 以上の地震がしばしば発生している。2005年2月16日には $M 5.3$ の地震(最大震度5弱)が発生した。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、最近では2012年6月1日に $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 程度の地震が時々発生している。

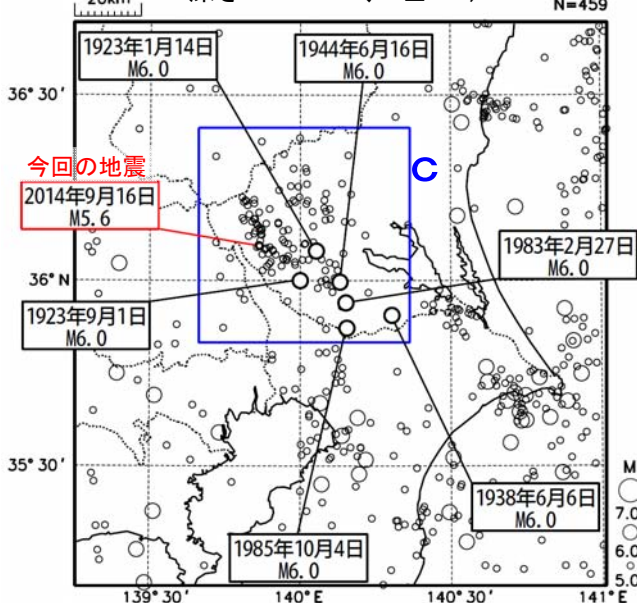
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1923年1月1日～2014年9月30日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図及び回数積算図

